



2023年1月20日発行

拝啓

ますます冷え込むこの頃、皆様はどうお過ごしですか？

生き物たちが眠る静かなこの季節には、窓辺でゆっくり読書をするのがオススメです。ほんの少し冷たい窓辺に居ると、眠くなりづらく集中しやすいかと思います。風邪を引かないように暖かい格好をして試してみてくださいね。寒さを吹き飛ばすような高揚感や心のあたたかさを得られる本と皆様が出会えますように。

かしこ

--今月号のラインナップ--

Calendar

2023年2月～3月カレンダー

LiLian Special Info.

一度は手に取って読んでみたい
児童雑誌『赤い鳥』

今月の一冊

『タルト・タタンの夢』

LiLian Interview

平田なつひ先生（生活環境学部 食環境栄養学科）



2023年2月・3月 カレンダー

2月

◎ 8 : 30 ~ 20 : 00

○ 9 : 00 ~ 16 : 30

日	月	火	水	木	金	土
			1 休館	2 休館	3 休館	4 ○
5 休館	6 ○	7 ○	8 ○	9 ○	10 ○	11 休館
12 休館	13 ○	14 ○	15 ○	16 ○	17 ○	18 ○
19 休館	20 ○	21 ○	22 ○	23 休館	24 ○	25 ○
26 休館	27 ○	28 ○				

3月

◎ 8 : 30 ~ 20 : 00

○ 9 : 00 ~ 16 : 30

日	月	火	水	木	金	土
			1 ○	2 ○	3 ○	4 ○
5 休館	6 休館	7 休館	8 休館	9 休館	10 休館	11 ○
12 休館	13 ○	14 ○	15 ○	16 ○	17 ○	18 ○
19 休館	20 ○	21 休館	22 ○	23 ○	24 ○	25 ○
26 休館	27 ○	28 ○	29 ○	30 ○	31 ○	

※3/6～3/10 蔵書点検のため休館

最新情報はHPを
ご確認ください →



LiLian Special Info.

♪ 一度は手に取って読んでみたい児童雑誌『赤い鳥』 ♪

みなさんは『赤い鳥』をご存じでしょうか。大正から昭和の時代に渡って発行された童話と童謡を収録した雑誌です。鈴木三重吉が創刊し、名だたる文豪からの寄稿もありました。もしかしたら「赤い鳥運動」という運動があったことをご存じの方もいるかもしれません。

図書館の書庫には当時復刊発行された実物と、創刊号から全号の複製版が所蔵されています。今とは違った表紙の刷り、印字で読めば当時の雰囲気を感じ取ることができることでしょう。無名の作品も読んでみると面白くて、現代の思想には合わないような作品も一部あり、当時の人々がどのような考えを持っていたのか、その一端を知ることができます。当時の子どもが書いた作品も収録されているので、資料としても参考になるかもしれません。



『赤い鳥』は間違いなく日本の近代児童文学、音楽に最も重要な影響を与えた雑誌です。学校の教科書などでも見かける名作品、『蜘蛛の糸』（創刊号）、

『一房の葡萄』（第5巻2号）、

『からたちの花』（第13巻1号）、『ごん狐』（復刊3巻1号）

などが収録されています。そんな作品たちを、世に出たそのままの形で読み直せば新たな発見があること間違いなしです。ぜひ、手に取って読んでいただきたいです。

(ゆりな)

*** 今月の一冊 ***

『タルト・タタンの夢』 近藤史恵／著

913.6
Ko735
5

閲覧室2F読書コーナー

無口な料理長・三舟が作る家庭料理が人気のフレンチレストラン

「ビストロ・パ・マル（＝悪くない）」。小さなお店ですが、そこには本当にフランス料理が大好きなお客さんが集まってきます。

お客さんの身に起こる不可解な出来事やトラブルの謎を、三舟は持ち前の推理力と豊富な料理の知識を使って鮮やかに解いていきます。

絶品フランス料理と心温まるミステリーを、是非ご堪能ください。

（たまみ）





LiLian Interview

大すきな先生に
インタビューに
行こう 52

生活環境学部 食環境栄養学科

平田なつひ 先生



1. 趣味は何ですか？

音楽鑑賞です。特にクラシックを聴きます。

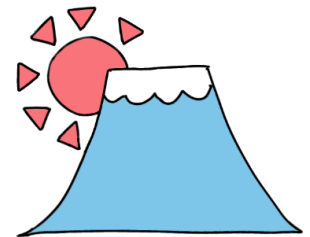
今はコロナ禍で生演奏を聴きに行くことが難しいので、YouTube や日曜日にある NHK 番組「クラシック音楽館」を観ています。もうすぐ金城メサイアが YouTube にて生中継で配信されるので楽しみです（11 月 23 日に終了）。

他には新製品の文房具をチェックして集めています。

特にパソコンの前で広げることのできる

ハーフサイズノートはお勧めです。

また文房具屋さん大賞を受賞した商品は必ず確認しています。



2. 休みの日にどんなことをしていますか？

食材を育てる際に音楽を聴かせている商品をチェックすることです。

ロックやヴィバルディを聴かせて発酵させた味噌、モーツァルトを聴かせた野菜も販売されています。植物の専門の先生方が音を聴かせた食材は、音を聴かせなかった食材と比較し、生育の相違があるかについて研究発表されていますので調べてみてはどうでしょうか。おすすめです。

3. 研究分野について教えてください。

専門分野は栄養教育です。人々が QOL を高めて、健康的な生活を送るために、食事の場面で管理栄養士がどのように支援したらいいのかを考える学問です。その中でも個人の支援方法について質的調査法を用いた研究をしています。他には、教材の作成や作成時の指導方法について研究を進めています。

4. 研究分野に関心を持った理由は何ですか。

学生時代に、在宅で治療を受ける高齢者のご自宅を訪問する機会がありました。その際に、その方自身の社会的背景、家族のこと、体の調子、どう生きたいのか、これまでの経験（ナラティブ）を聞きながら、これからの暮らしを見据えてその方や家族に食事の支援をすることも管理栄養士の大切な仕事であることを学びました。そのことがきっかけで在宅ではどのような支援方法があるかとよいのだろうか、さらに研究を深めたいと思い、今があります。

5. 大学の中で好きな場所はどこですか？



図書館です。静かな環境でゆっくりでき、落ち着きます。眺めがいいことも魅力です。また、エラヒューストン記念礼拝堂も落ち着くので好きです。

6. 好きな本、または、おすすめの本を教えてください。

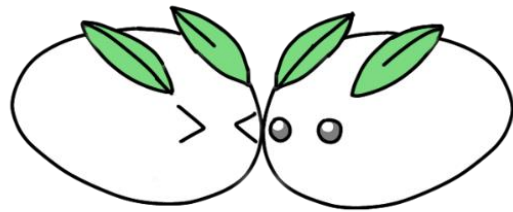
1 点目は、大阪大学の大竹文雄先生が書かれた『行動経済学の使い方』という新書です。新書のシリーズは著者が大学生に伝えたいことがたくさん書かれている本ばかりです。

この本は人の行動変容について経済学分野の様々な理論が紹介されている非常に面白い本です。その中でも、環境省や厚生労働省でも活用されている、人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする「ナッジ」という理論が紹介されています。「ナッジ」は医療福祉にも応用できることが書かれています。管理栄養士国家試験ガイドラインの栄養教育論分野にも「ナッジ」についての問題が出題されています。関心のある方にはぜひ読んで欲しいと思います。

2点目は、『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』です。本を読むことが好きではない大学生にもおすすめの一冊です。多くの文豪たちの文体の特徴を掴んでいて面白いです。当大学図書館司書の方におすすめて頂き読みました。

7. 最後に金城生にメッセージをお願いします。

皆さんはコロナ禍で非常に大変な思いをして大学生活を送っていると思います。我慢せざるを得なかった環境で培われた強さと優しさが、皆さんのこれからの人生を導いてくれるのではないのでしょうか。これからの人生が幸せであられますよう祈っています。



☆インタビューを終えて

授業でお世話になっている先生の新たな一面を知ることができ、とても楽しい時間を過ごせました。今の研究分野に関心を持った経緯など普段中々お話しする機会のない内容に触れることができて良かったです。

(りさ)

平田先生と初めてお話させていただきました。私自身看護学部に所属していることもあり、実習での体験やそのときの気づきのお話が興味深かったです。また先生の金城生への言葉が素敵で、とても励まされる思いになりました。インタビュー内容を文字に起こすのは大変でありつつも、楽しい時間でした。今回はお時間を頂きありがとうございました。

(ひなこ)

*** 紹介された本（金城学院大学図書館所蔵） ***

『行動経済学の使い方』 請求記号：331/O82/4/B2

『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』

請求記号：914.6/Ka51

